

インサーター機NR-X体験会

東京に続き2回目の実施
土浦で実施

人手不足解消の切り札 所長の期待も膨らむ

次回は名古屋で開催 プレッショ

プレッショ(東京都港区、大谷貴志社長)と川に多くの販売店所長が訪上機工(群馬県高崎市、吉池睦社長)は9月10、11日の2日間、茨城県土浦市のクラフトシビックホール土浦で、インサーター機「NR-X」(丁合機能搭載)の体験会を開催した。7月の東京開催に続き2回目となる。

プレッショ(東京都港区、大谷貴志社長)と川に多くの販売店所長が訪上機工(群馬県高崎市、吉池睦社長)は9月10、11日の2日間、茨城県土浦市のクラフトシビックホール土浦で、インサーター機「NR-X」(丁合機能搭載)の体験会を開催した。7月の東京開催に続き2回目となる。

1台でインサーター&折込丁合機として使用可能

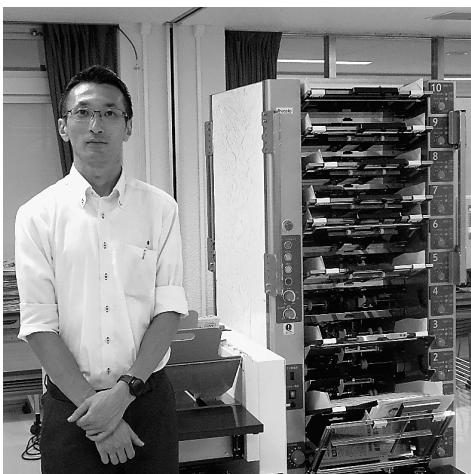
お客様の手に届く価格帯を実現

— 今回のNR-Xの体験会は、7月に行った東京・銀座でも良いマシンだ」と高評価の体験会に続き、2回目は前回以上に確かな手応えを感じています。販売店も慢性的な人手不足

— お客様が求めるインサーターとは、どのようなものとお考えですか。

NR-X

ミスの少ない正確な稼働、省スペースでの設置、使いやすさ、薄い紙への対応、スピードなどありますが、一番は価格だと思います。多くのお客様の手に届く価格帯でなければなりません。中には、NR-Xを高いと感じるお客様もいるかもしれませんが、1台でインサーターと折込丁合機どちらの機能も使用できるため、お得だと思いま



プレッショ北関東営業所の小布施所長

1.5畳のスペースがあれば設置できますし、薄い紙への対応も万全です。NR-Xの操作はとてもシンプルです。

— どのような経緯で、来場する所長が多いと感じますか。

販売店への導入体制は万全

NR-Xはスタッフが働きやすい環境づくりができるマシン

また、中小企業省力化投資補助金を活用した導入も可能です。我々が申請からサポートもさせていただきますので、ぜひこの機会に導入をご検討いただきたいと思います。

NR-Xは使い勝手が良く、慣れば一人で操作できます。人手不足解消につながるなど、価格以上のメリットを感じていただけたらと思います。

— 実機をお店に持ち込んで実際に稼働させて、導入を検討してもらおうサービスもありますね。導入後、スタッフだけで動かせるようになるまでサポート体制について教えてください。

— 時代にあったマシンです。おっしゃる通りです。働き方改革が叫ばれていますが、新販販売店がその実現するのは、今のところ難しいかもしれません。しかし、NR-Xをうまく活用すれば、スタッフの負担を軽減することができると考えています。

— 実機をお店に持ち込んで実際に稼働させて、導入を検討してもらおうサービスもありますね。導入後、スタッフだけで動かせるようになるまでサポート体制について教えてください。

— 時代にあったマシンです。おっしゃる通りです。働き方改革が叫ばれていますが、新販販売店がその実現するのは、今のところ難しいかもしれません。しかし、NR-Xをうまく活用すれば、スタッフの負担を軽減することができると考えています。

— 労務難解消に役立つなど、NR-Xで「効率化して、最

— 労務難解消に役立つなど、NR-Xで「効率化して、最

— 労務難解消に役立つなど、NR-Xで「効率化して、最

— 労務難解消に役立つなど、NR-Xで「効率化して、最

【次回の体験会開催】
▽日時 10月16日(水) 午前10時
午後4時
▽会場 名古屋プライムセントラ 入口ICすぐ

ルタワ(愛知県名古屋市西区名駅2丁目27-8)
▽アクセス 名古屋駅地下鉄1番出口より徒歩4分。名古屋高速名駅入口ICすぐ。

「インサーターを知ってから実際に見るように勧めるが、見たことがないから」などの声をいただくことが多くなりました。長引く業務難に危機感を覚えている「インサーターを導入して作業の効率化を図りたい」「導入店の所長 場いただきました。

採用募集の際、「当店は配達だけでOK」とアピールすることもできます。チラシの中入れ作業はなしで、配達を2時間だけやってほしい、という内容の募集であれば、応募を考える人は増えると思います。

16日には、名古屋市西区の名古屋プライムセントラルタワーでもNR-Xの展示イベントを行います。ぜひ、直接ご覧いただきたいです。

— NR-Xによる販売店の課題解決を期待しております。ありがとうございます。

地域見守り活動協定締結

岩手日報の販売店で組織する岩手日報会(三浦義之会長)は9月29日、岩手県警察本部と「地域の見守り活動に関する協定」を締結した。今後、同会は日常の新聞配達業務の際の地域見守り活動、警察の要請に基づき防犯チラシの戸別配布、販売店等へののぼり旗掲示、配達車両等へのステッカー掲示などの活動に取り組む。

新聞配達ルートを防犯ルートに

■協定の主旨・背景 岩手県は面積1万5275平方キロと広大で、東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・東京都の4都県合計1万3570平方キロを上回る。人口減少と地域コミュニティの衰退が進む中、地域の安全を守る機能の低下が懸念されている。

新聞販売店は休刊日を除きほぼ毎日、未明から早朝にかけて戸別配達を行い、日中は購読料の集金や営業活動を実施している。岩手日報会を構成する販売店は9月1日現在93店、従業員数約2千人。今回の協定では、こうした時間帯において異変に気付いた際、速やかに県警に通報、初動対応に貢献する仕組みを強化するのが狙い。

県内全域を網羅する販売センターのネットワークを活かし、見守りの目を広げ、地域社会の安全安心づくりに尽力する。



岩手県警察